

検査内容変更のお知らせ

謹啓

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
さて、このたび下記項目につきまして、検査内容を変更させていただくことになりましたので、ご案内申し上げます。
先生方にはご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

謹白

記

- ▶ 亜鉛(Zn) - 血清
- ▶ ソマトメジンC (SM-C)
- ▶ サイトメガロウイルス IgG-EIA
- ▶ サイトメガロウイルス IgM-EIA
- ▶ リンパ球幼若化検査 PHA
- ▶ リンパ球幼若化検査 Con-A

変更日:2019年3月29日(金)受付分より

裏面に続きます。

➔ 亜鉛(Zn) - 血清

日本臨床栄養学会から『亜鉛欠乏症の診療指針2018』が示されました。

その中で血清亜鉛の基準値が掲載されましたことから、上記診療指針の基準値に変更いたします。

	新	従来
検査材料	血清	同左
検体必要量	0.5mL	同左
所要日数	3~4	同左
検査方法	原子吸光分光光度法	同左
基準値	80~130	59~135
単位	$\mu\text{g/dL}$	同左
報告範囲	10以下~最終値	同左

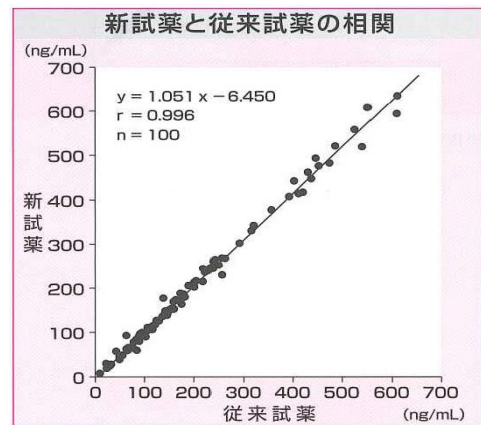
【参考文献】

児玉浩子,他:日本臨床栄養学会雑誌 40, 120-167, 2018.

ソマトメジンC (SM-C)

測定試薬を従来試薬と同等の性能を有し、所要日数短縮が可能な試薬に変更させていただきます。
なお、この変更に伴い、検体必要量、所要日数、検査方法を変更させていただきます。

	新	従来
検体必要量	血清0.5mL または 血漿0.5mL	血清0.3mL または 血漿0.3mL
所要日数	3~4	4~6
検査方法	ECLIA法	IRMA法(RIA法・固相法)



BML検討資料

【参考文献】

Isojima T. et al.: Endocr J. 59, 771-780, 2012.

▶ サイトメガロウイルス IgG-EIA

測定試薬を従来試薬と同等の性能を有する試薬に変更させていただきます。

なお、この変更に伴い、検査項目名、検体必要量、検査方法、基準値、単位、報告範囲を変更させていただきます。

	新	従来
検査材料	血清	同左
検体必要量	0.5mL	0.6mL
所要日数	3~4	同左
検査方法	CLIA法	EIA法
基準値	IgG判定：(-) 抗体濃度：6.0未満	IgG判定：(-) EIA価：2.0未満
単位	AU/mL	なし
報告範囲	IgG判定：(-)、(+) 抗体濃度：6.0未満~250.0以上	IgG判定：(-)、(±)、(+) EIA価：0.1未満~128以上
報告桁数	小数第1位	同左

新試薬の判定基準

判定	抗体濃度(AU/mL)
(-)	6.0未満
(+)	6.0以上

一致率表

		従来			
		+	±	-	合計
新	+	83	0	0	83
	-	4	1	12	17
合計		87	1	12	100

陽性一致率 95.4%
陰性一致率 100.0%
判定一致率 95.0%

BML検討資料

【参考文献】

熊田洋高, 他: 医学と薬学 72, 1087-1094, 2015.

▶ サイトメガロウイルス IgM-EIA

測定試薬を、特異性が向上した試薬に変更させていただきます。

なお、この変更に伴い、検査項目名、検体必要量、検査方法、基準値、単位、報告範囲を変更させていただきます。

	新	従来
検査材料	血清	同左
所要日数	3~4	同左
検体必要量	0.5mL	0.6mL
検査方法	CLIA法	EIA法
基準値	IgM 判定:(-) Index :0.85未満	IgM 判定:(-) 抗体指数 :0.80未満
単位	なし	同左
報告範囲	IgM 判定:(-),(±),(+) Index :0.85未満~最終値	IgM 判定:(-),(±),(+) 抗体指数 :0.01~最終値
報告桁数	小数第2位	同左

新試薬の判定基準

判定	Index
(-)	0.85未満
(±)	0.85~0.99
(+)	1.00以上

一致率表

		従来			
		+	±	-	合計
新	+	34	3	0	37
	±	2	0	2	4
	-	25	13	21	59
合計		61	16	23	100

陽性一致率 55.7%

陰性一致率 91.3%

判定一致率 55.0%

BML検討資料

【参考文献】

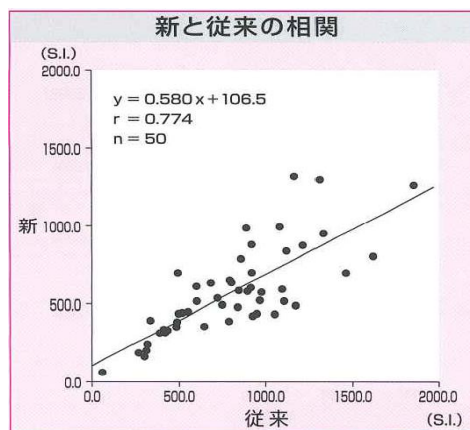
熊田洋高, 他: 医学と薬学 72, 1087-1094, 2015.

リンパ球幼若化検査 PHA

測定精度の向上を期し、測定機器を変更させていただきます。

なお、この変更に伴い、基準値を変更させていただきます。

	新	従来
検査材料	血液(ヘパリン加血)	同左
所要日数	7~9	同左
検査方法	分離培養法による ³ H-サイミジン取込み能	同左
基準値	PHA刺激培養 : なし SI(PHA) : 147.5~1251.3 無刺激培養 : なし	PHA刺激培養 : 同左 SI(PHA) : 101.6~2643.8 無刺激培養 : 同左
単位	PHA刺激培養 : cpm SI(PHA) : なし 無刺激培養 : cpm	同左
報告範囲	PHA刺激培養 : 0~最終値 SI(PHA) : 0.1以下~最終値 無刺激培養 : 0~最終値	同左
報告桁数	PHA刺激培養 : 整数 SI(PHA) : 小数第1位 無刺激培養 : 整数	同左

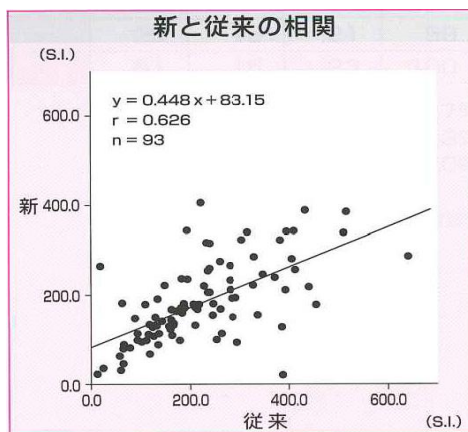


BML検討資料

リンパ球幼若化検査 Con-A

測定精度の向上を期し、測定機器を変更させていただきます。
 なお、この変更に伴い、基準値を変更させていただきます。

	新	従来
検査材料	血液(ヘパリン加血)	同左
所要日数	7~9	同左
検査方法	分離培養法による ³ H-サイミジン取込み能	同左
基準値	Con-A刺激培養 : なし SI(Con-A) : 38.1~385.5 無刺激培養 : なし	Con-A刺激培養 : 同左 SI(Con-A) : 74.7~1793.2 無刺激培養 : 同左
単位	Con-A刺激培養 : cpm SI(Con-A) : なし 無刺激培養 : cpm	同左
報告範囲	Con-A刺激培養 : 0~最終値 SI(Con-A) : 0.1以下~最終値 無刺激培養 : 0~最終値	同左
報告桁数	Con-A刺激培養 : 整数 SI(Con-A) : 小数第1位 無刺激培養 : 整数	同左



BML検討資料